

TeamLog音声認識システム 説明資料

目次

• TeamLogとは？ -----	03
• 機能紹介 -----	06
－ 複数人の文字起こし	07
－ 議事録作成	13
－ 認識結果の共有	14
－ 翻訳・同時通訳	15
－ 情報支援に関する機能	19
• ご利用までの流れ -----	23
• お問い合わせ先 -----	25

TeamLogとは？

TeamLogは、複数人の会話シーンや周囲が騒がしい状況など、今まで文字起こしが難しかった環境下でも正確な文字起こしが可能な音声認識システムです



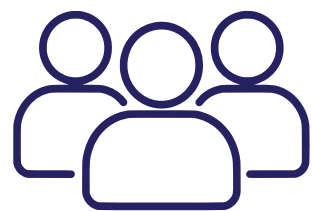
特徴と強み

- ◇ 複数人の同時発話に対応
- ◇ 認識結果と名前を紐づけて表示
- ◇ 優れた認識精度と対騒音性能
- ◇ 高いセキュリティ性
- ◇ 多様なシーンで使える汎用性
- ◇ 支援機能等も充実

TeamLogは、難聴者やろう者などの「聴覚障害者の支援」を目的として開発されました。

聴覚障害者の特徴と課題

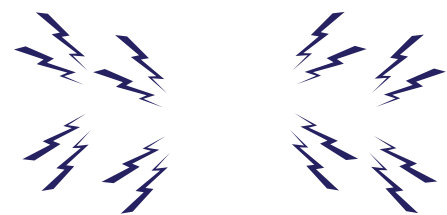
01



複数人の会話で 取り残されがち

口の動きを聞き取りの補助としていることが多い
ため、見る対象が増える
多人数の会話が苦手

02



周囲が騒がしいと 聞き取りが困難に

補聴器や人工内耳は周囲
の雑音も増幅してしまう
ため、騒がしいところで
は聞き取りが低下

03



誤認識があっても 確認できない

自身の耳で文字起こし結
果を確認できないため、
認識に間違いがあっても
何が正しいかわからない

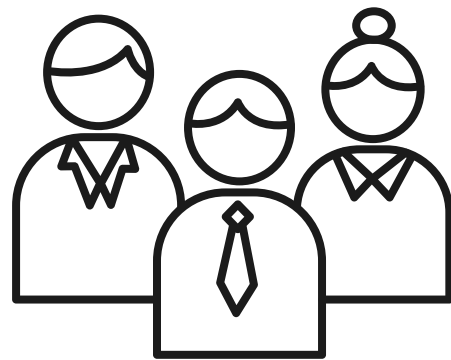
聴覚障害者には上記のような特性があるからこそ、その支援には高い文字起こし精度が求められます。TeamLogでは、高度な音響技術や最新AIを組み合わせ、あらゆる会話シーンで正確な文字起こしを実現しています。



既存ツールとの違い

TeamLogは、既存の文字起こしツールが抱えていた多くの課題を解決し、高い精度を実現。
様々なシーンで活用できるシステムとして設計されています

既存ツールの課題



複数人に弱い

発言の重なりによって認識精度が低下。誰が話した内容なのかもわからないことが多い



環境音に弱い

周囲の声やBGM、関係ない音を拾ってしまったり、騒音に声がかき消されてしまう



認識精度が低い

基本的な文字起こし精度が低く、専門用語や人名などでも間違いが多く発生する。

これらの課題を特許出願中の独自構造・技術ですべて解決しています。

基本機能 ～音声認識～

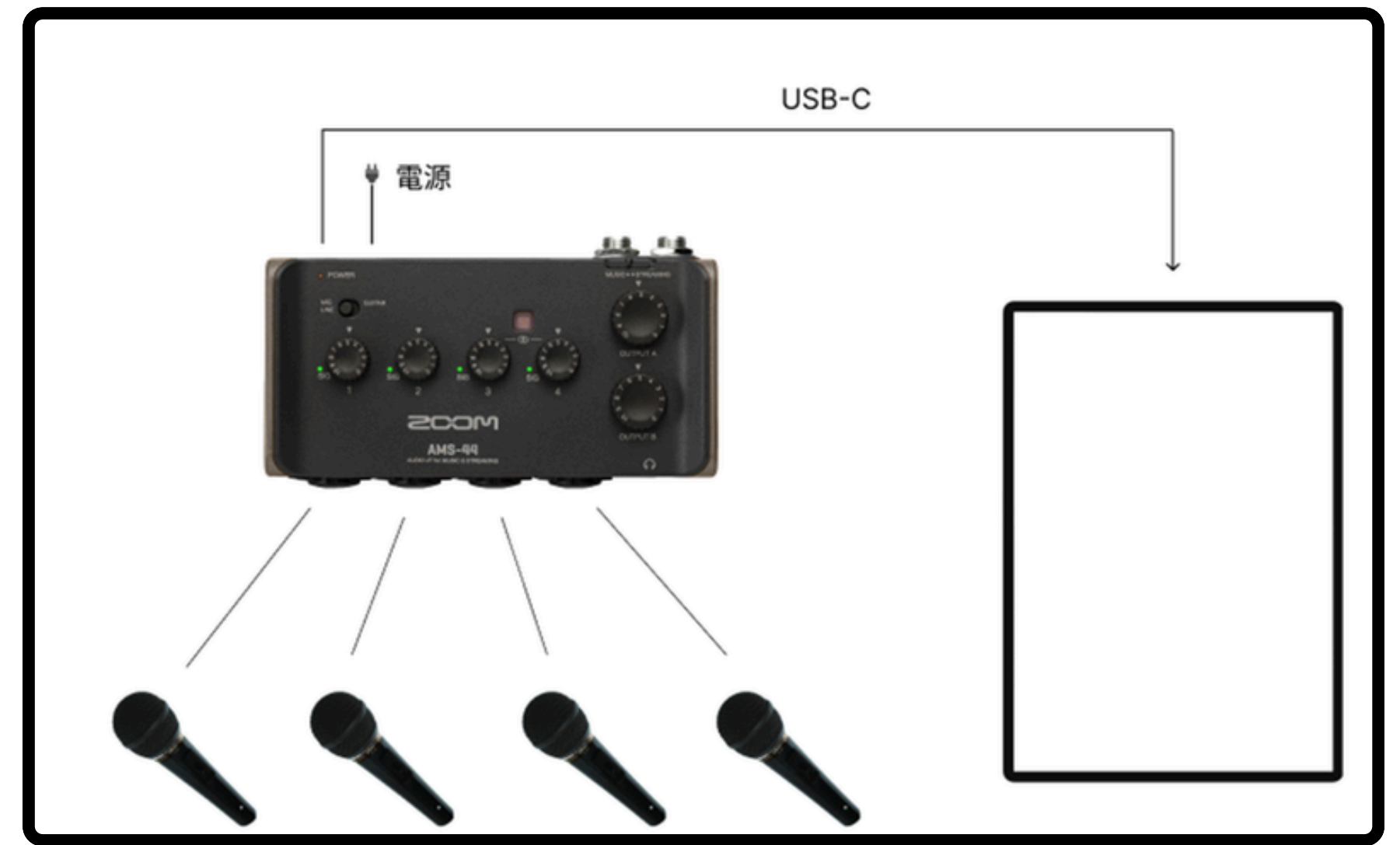
高い認識精度と複数人会話の文字起こし

複数人の文字起こし

- TeamLogでは複数の指向性マイクを使用し、マイクごとに音声を収集・文字起こしを行います。これにより既存ツールの「複数人の会話シーンで声が混ざる」「遠くの人声を拾わない」等の課題を解決し、「誰が何を話したか」までわかる形での文字起こしが可能となりました



マイクごとにタグ付けを行い、認識結果と一緒に表示



接続例：マイク4本

複数の指向性マイクを使用する利点

1. 同時発話に対応

- －複数人が同時に話してもすべての発言を名前付きで文字起こし可能
- －発言の順番や声の重なりを気にすることなく自由に発言できる
- －最大対応人数は30名以上で大規模会議などにも対応

2. 雑音や環境音に強い

- －指向性マイクにより声をピンポイントに收音、周囲の音に影響されない
- －80dBを超えるような騒音環境でも精度の低下がない
- －距離が離れている人の声も文字起こしができる

3. 様々な用途で利用できる

- －ピンマイク、無線マイク、ヘッドマイクなど状況に応じてカスタマイズ可能
- －会場の音響設備や既存ツールとの連携が可能
- －同時通訳、多言語の会話シーン、リスピークなど、様々な用途で利用できる



ヘッドセットマイク



ピンマイク



ダイナミックマイク

利用シーン（動画）



システム説明（3分34秒）

TeamLogの実際の認識シーンやシステム構成、認識精度、各種機能を動画で紹介しています。



Youtube



4名での同時発話（12秒）

参加者の皆さんに好きな食べ物を「せーの」で話していただきました。極端な例ですが参考にどうぞ



Youtube

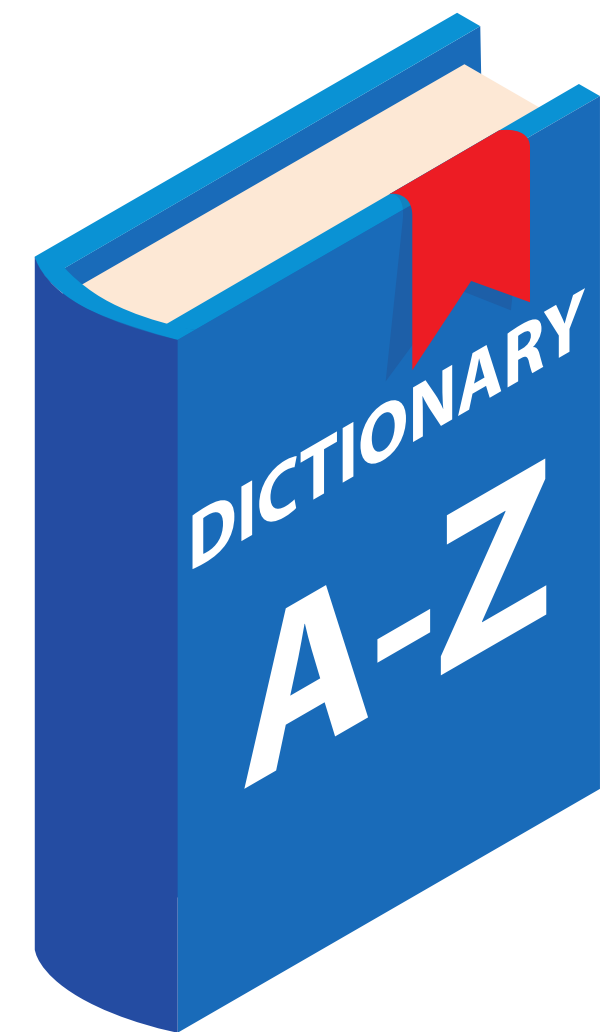
専門用語や人名への対応

- 専門用語や人名なども「単語登録」機能を活用することで確実な文字起こしが可能です。単語辞書は用途ごとに作成し、会話内容に応じて組み合わせて使用することができます。

辞書例

- ☐ スタッフ名
- ☒ 専門用語一覧A
- ☐ 専門用語一覧B
- ☒ ○月○日イベント来賓、企業名リスト
- ☐ イベント用語

使用したい辞書を選択することで用途に合わせて文字起こし



利用シーン

- 今まで正確な文字起こしが難しかった様々な会話シーンでご活用いただけます。



会議や打ち合わせ

複数人が参加する会議でもすべての発言を文字起こし。認識結果はリアルタイムで表示されるため、誤認識があった場合もその場で修正が可能。発言と話者が記録されているため、議事録も高精度に。



グループワークの記録

すべての会話が記録できるため、自由な発言が求められる会話シーンの記録にも適しています。後から見返すだけでなく、その場で内容を確認する用途などにも適しています。



各種イベントの字幕

会場の音響システムと連携することで、発言を字幕としてリアルタイムに表示。マイクごとに「司会」と「登壇者」で表示を分けたり、パネルディスカッションなどの場面にも活用可能。

派生機能

高い認識精度を活かして様々な用途にご利用いただけます

保存・議事録作成

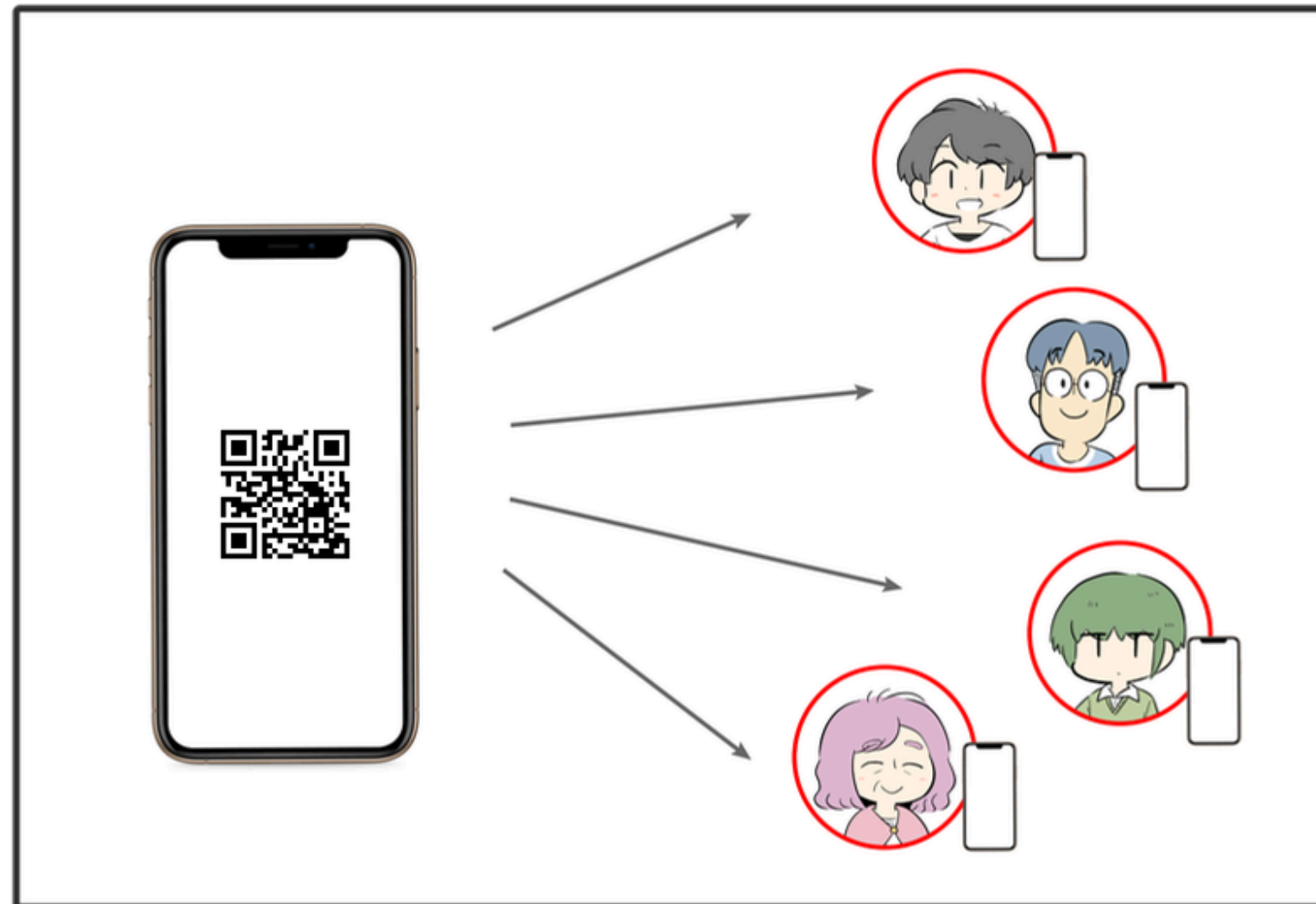
- 文字起こし結果は端末内に保存されるほか、Excelやtxt形式で出力可能。
Windows版には議事録作成機能も搭載しており、会議終了後に簡単操作で議事録作成まで完了させることができます。



	A	
1	小林	はいでは始めていきましょう。よろしくお願いします。
2	しみず	よろしくお願いします。
3	田中	よろしく。
4	小林	今日は私が進行を務めますが事前に何か報告とかある人はいま
5	しみず	ありません。
6	田中	大丈夫です。
7	小林	やっていきましょう。
8	小林	まずは今週末にある企業展についてですね、これについては田
9	田中	了解です。
10	田中	配布した資料を見ていただきながら確認していきますので、資
11	小林	お疲れ様でした。

認識結果の共有

- システムで発行するQRコードや参加コードで、他端末へ認識結果をリアルタイム送信。
自身の端末で認識結果を確認できるほか、翻訳や修正などの機能と組み合わせることで、
様々な用途に利用することができます



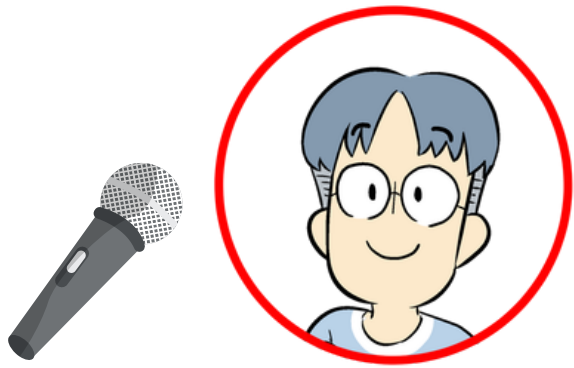
認識結果を1人1人の端末で閲覧



編集機能と組み合わせて認識結果をリアルタイム修正

翻訳：同時通訳

- NICT（国際通信機構）とGeminiの高精度翻訳AIの搭載でリアルタイム翻訳を実現。
複数のマイクを使用できる利点を生かし、各マイクに言語を設定することで同時通訳。
受付業務や国際会議、イベントやセミナーの翻訳にも活用可能



マイク1：日本語→英語



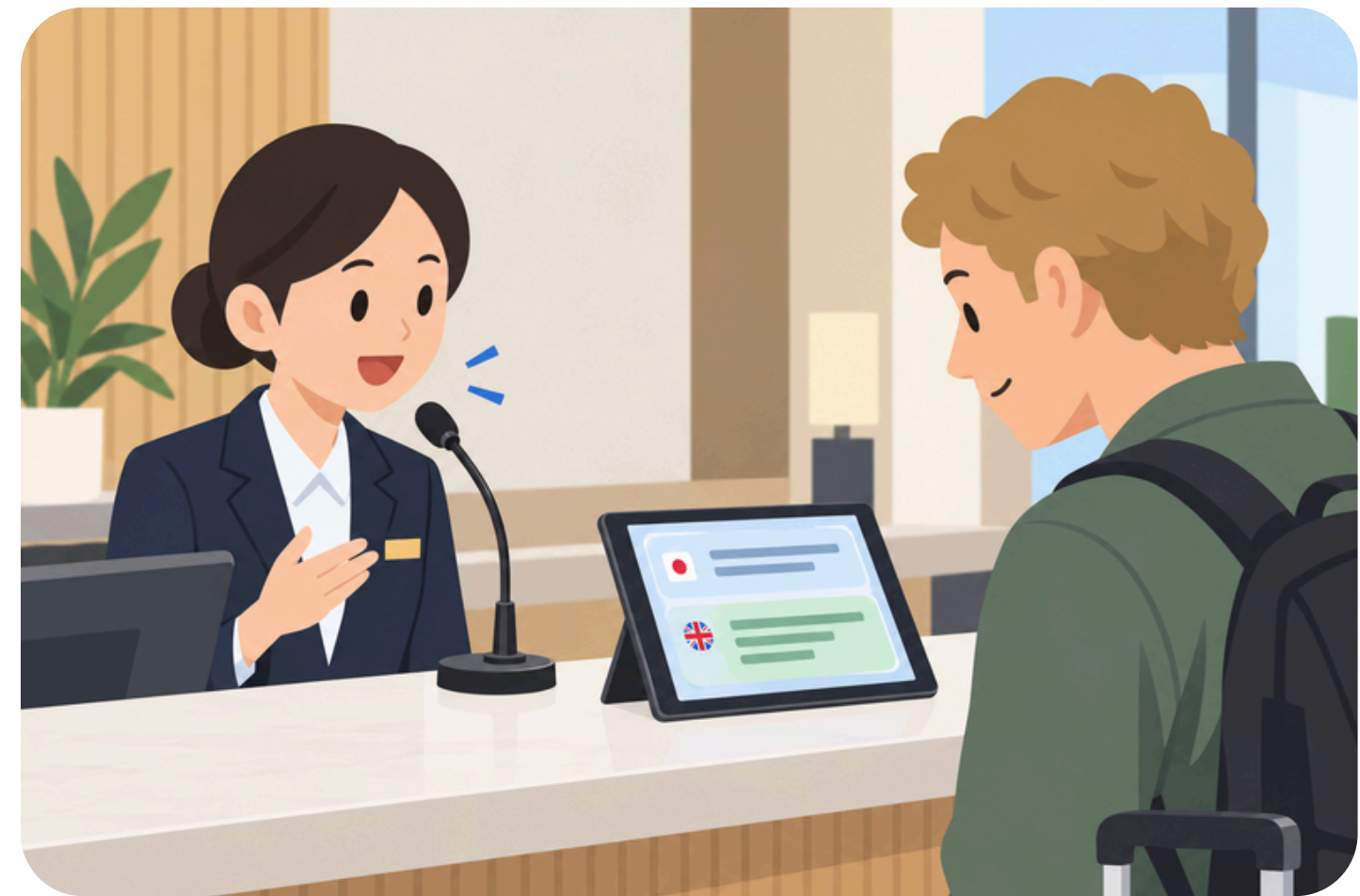
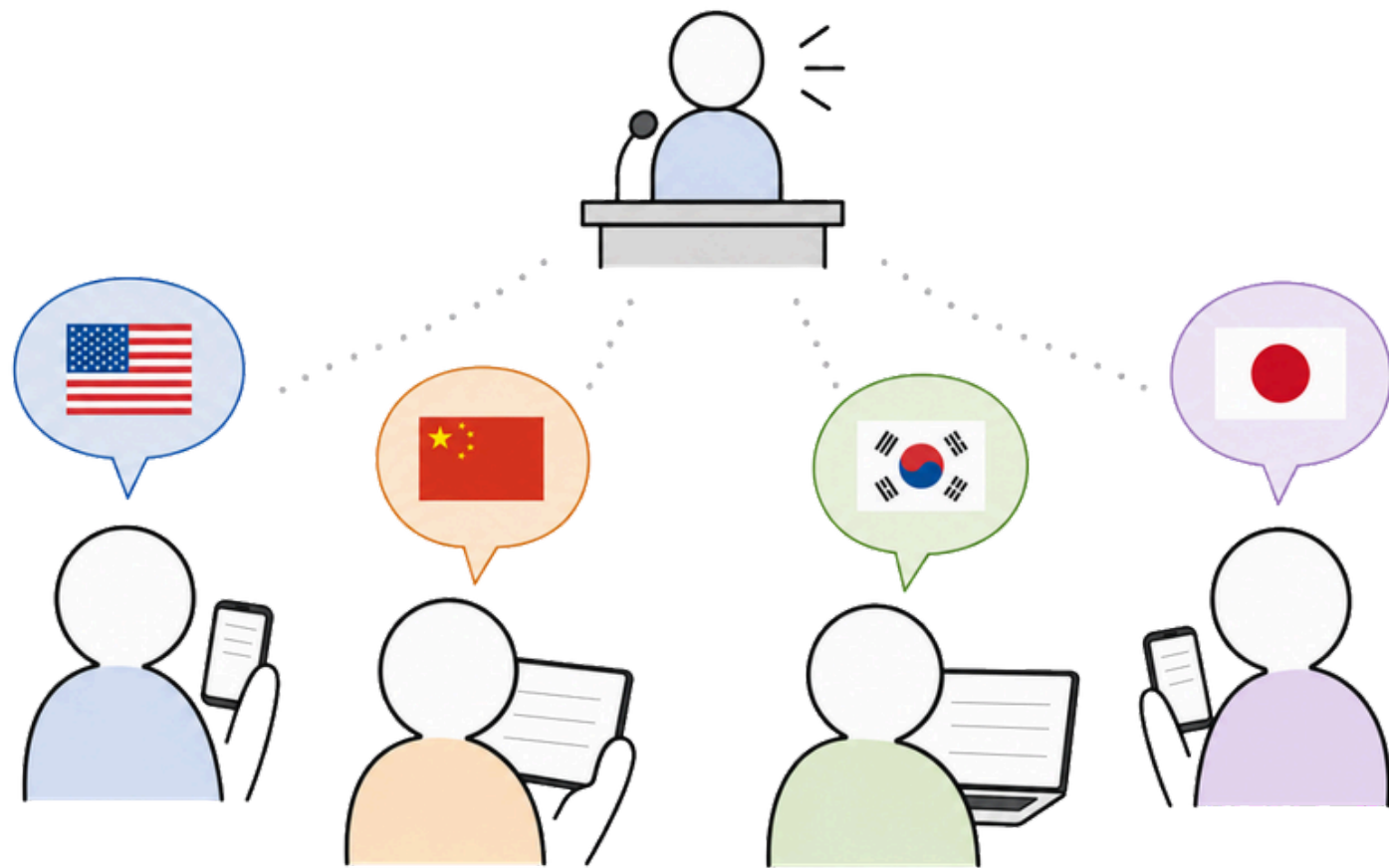
マイク2：英語→日本語

音声入力：4言語（日・英・中・韓）

翻訳：50言語以上

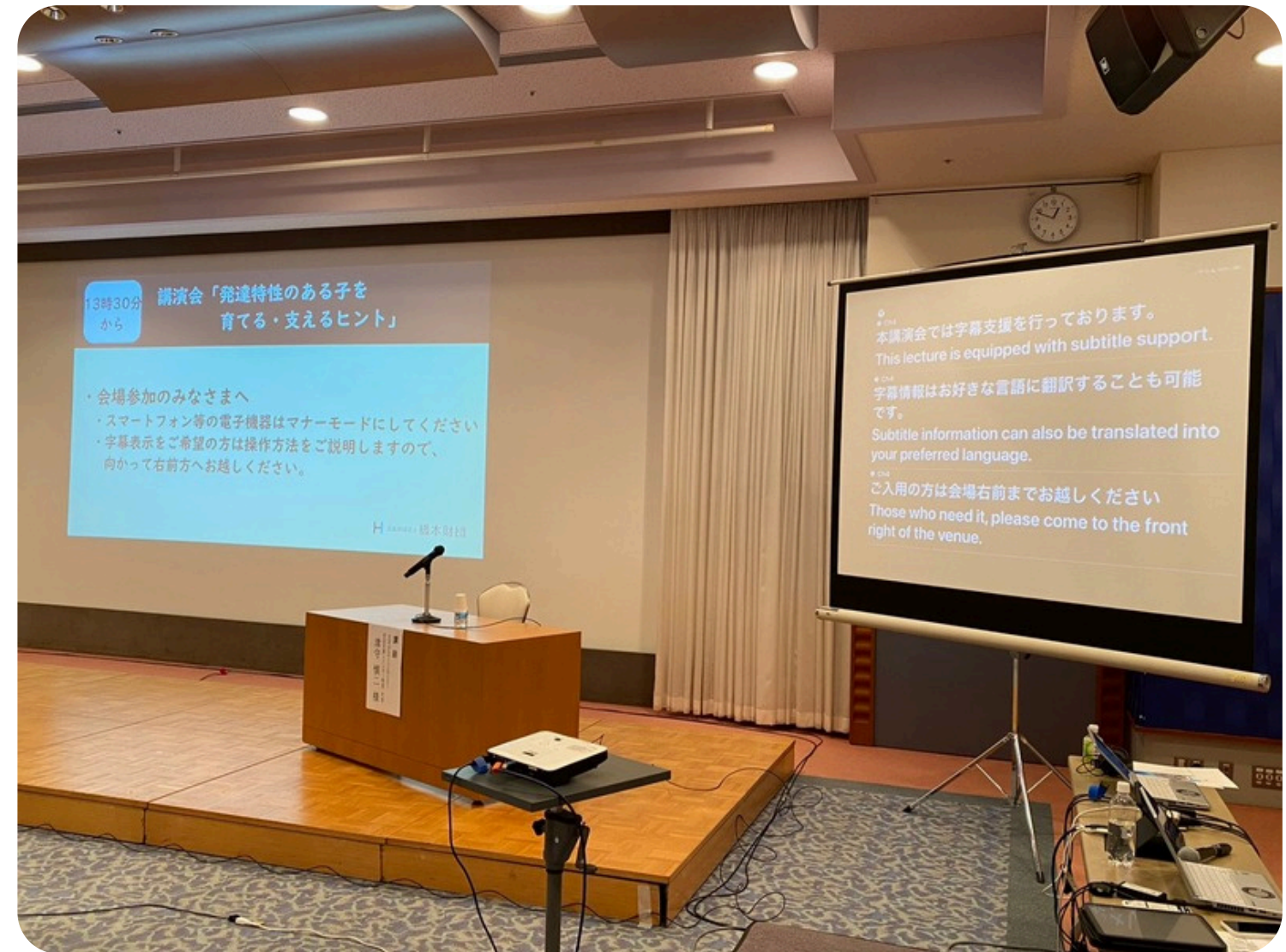
翻訳：多言語への同時翻訳

- 共有機能と組み合わせることで、参加者の端末へ好きな言語に翻訳して表示することができます。イベントや説明会の翻訳や、企業の外国人研修、レジや受付対応など、様々な用途でご活用いただけます



画面出力・投影

- TeamLogで得られた認識結果はHDMI等で出力可能。大画面へ表示したり、Webの配信画面に反映させることで、イベントや講演会に字幕情報を付与できます。ユニバーサル・グローバルなイベントとして、イベントの価値を高めます



翻訳：使用例

- 高い日本語文字起こし精度が評価され、翻訳を必要とするシーンでもご活用いただいています。
TeamLogを使った翻訳シーンでの採用例をいくつかご紹介します。



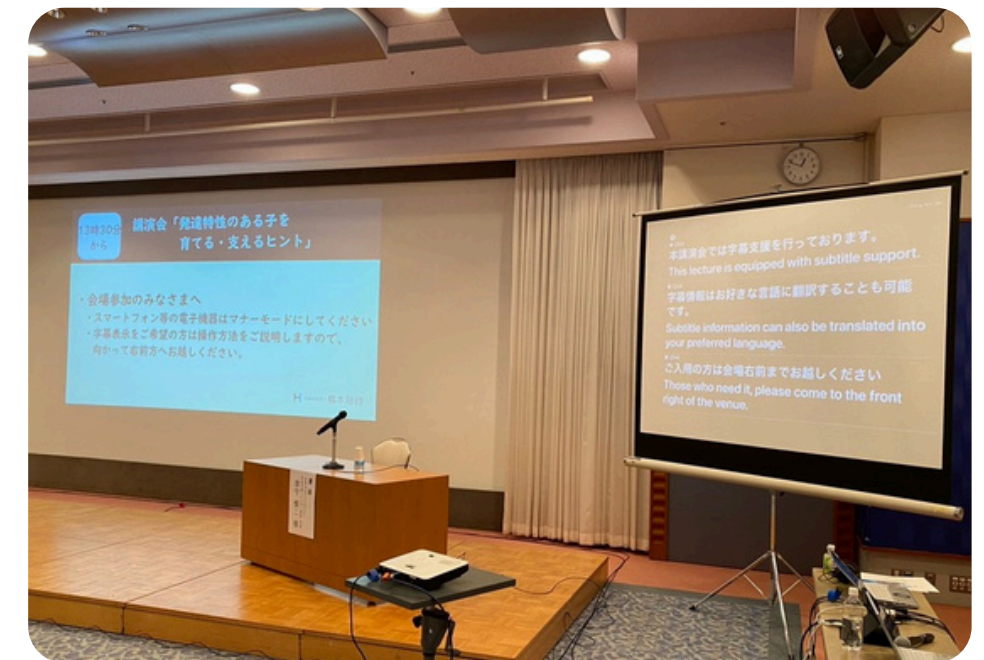
授業内容の翻訳

日本語未収得の外国籍児童の急増に伴い、岡山県の公立学校で教師の発言を翻訳する実証実験を実施。現在は24校でご利用いただいています。



図書館の各種業務

受付対応や説明会、読み聞かせイベントなどで参加者に合わせた言語に翻訳することで外国人の対応をスムーズに。



イベントや説明会

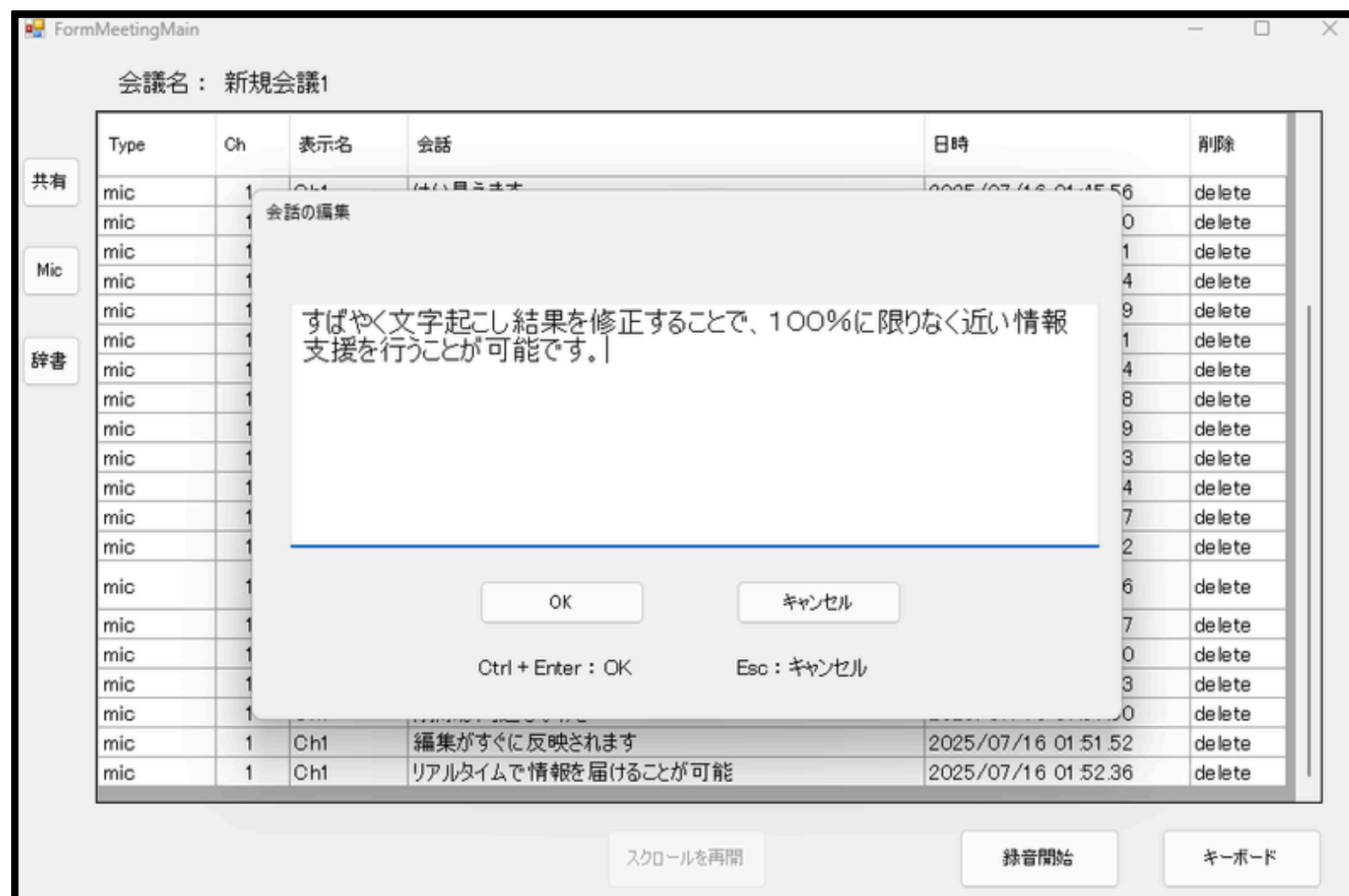
多様な国の方が参加する講演会やセミナーでは、共有機能と組み合わせることで参加者の端末に母国語で発言内容を表示します。

支援機能

情報支援などに使える機能をご紹介します

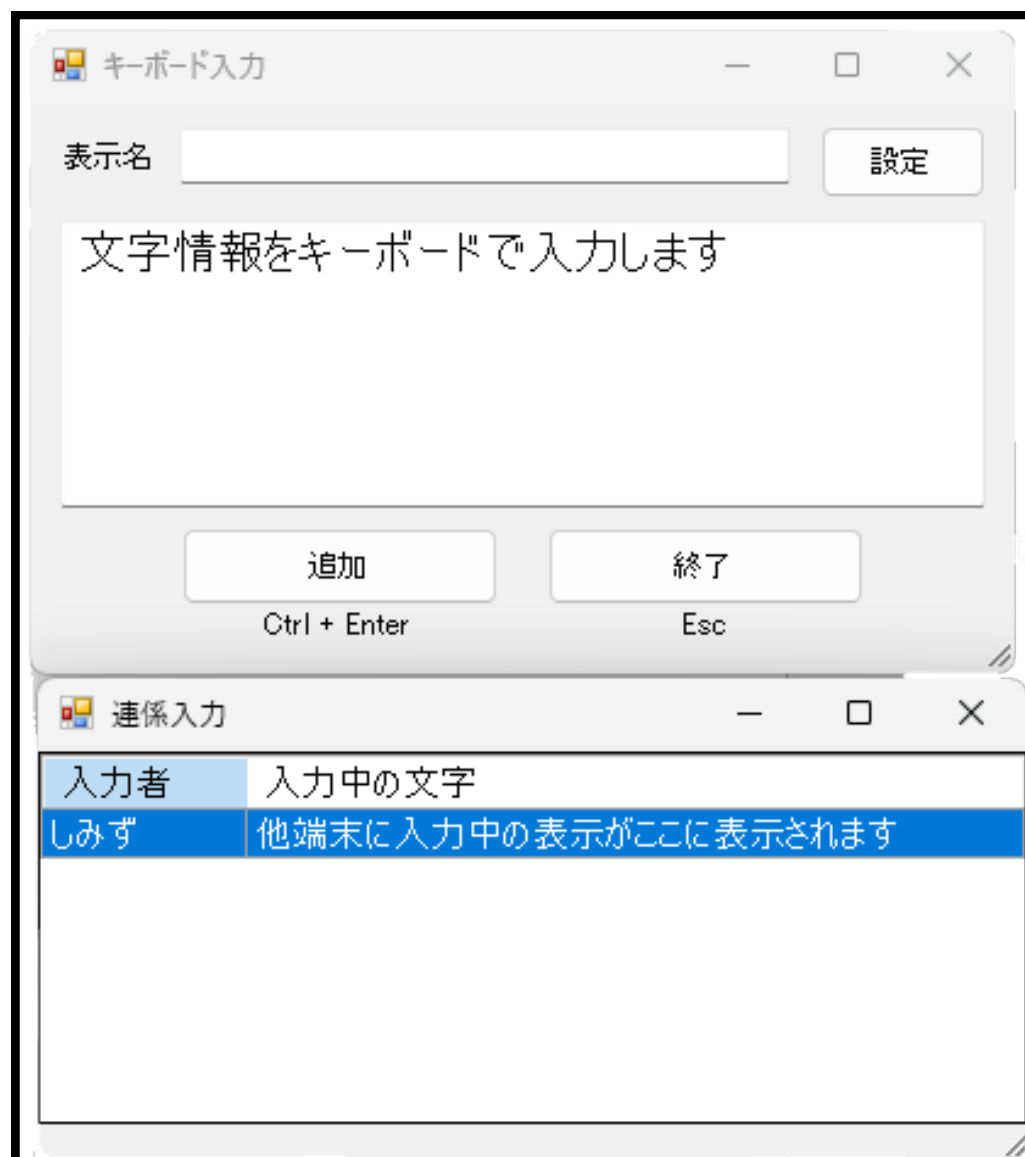
リアルタイム修正

- Windows版では、認識結果のリアルタイム修正に対応。QRコードを通して行うリモート編集だけでなく、LANケーブルでPC同士を接続してローカル編集にも対応。100%に近い文字起こし結果を提供します。



連係入力

- 複数人でのキーボード入力（連係入力）機能を搭載。滑舌の良い方の発言は音声認識に任せることで支援者の負担を軽減。すべての発言を手入力で行う必要がなくなります。さらにリスピークを組み合わせることで、多様な情報支援を実現します



- 文字起こし結果は外国語に翻訳するだけではなく、やさしい日本語に変換することも可能です。母国語に翻訳するのではなく相手のレベルに合わせた日本語とすることで外国籍従業員などへの日本語習得にも貢献します。

本日はお忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます

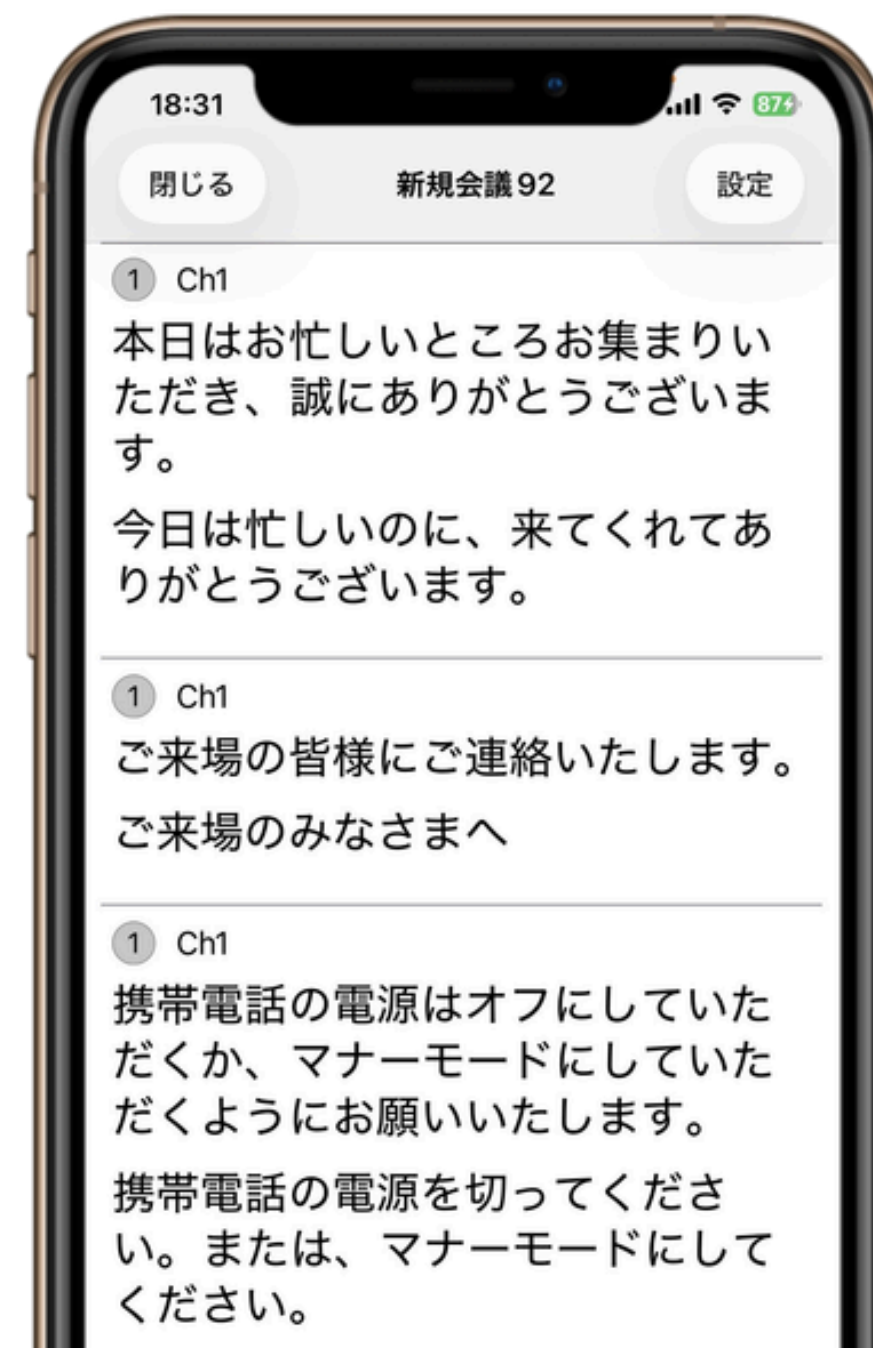
⇒ 「今日は忙しいのに来てくれてありがとうございます」

(JLPT 5級レベル)

混雑が予想される時間帯に備え、階段や曲がり角のある通路などの場所に立って来場者の誘導を行ってください。

⇒ 「人が多くなる時間に備えて、階段や曲がり角に立って、お客さんを案内してください」

(JLPT 4級レベル)



ご利用までの流れ

ご利用までの流れ

FLOW

STEP 01

申込・ヒアリング

担当者から想定について
簡単なヒアリングを行います

STEP 02

ご契約

内容や利用想定に応じた
機材内容に合意いただけたら
契約を行います

STEP 03

納品

アカウントの発行と
機材の納品を行います

STEP 04

サービス開始

システムにログインし、
機材を接続してご利用を
開始します

株式会社 聴覚研究所

hearing lab

お問い合わせ



 **058-240-2026**

 teamlog@hearing-lab.jp

 teamlog.hearing-lab.jp